

令和3年度 常葉大学・常葉大学短期大学部
第4回F D・S D研修会（全学共通研修会）報告

日 時 令和3年10月20日（水） 15時10分～16時30分

場 所 常葉大学静岡草薙キャンパス A201教室

静岡瀬名キャンパス 大会議室

静岡水落キャンパス 412教室

浜松キャンパス トコハホール

講演内容及び講師

1 各ワーキンググループよりの報告

WG1からの報告：浜松キャンパス副教務部長 中澤寛元

WG2からの報告：草薙・瀬名キャンパス副教務部長 鎌田公寿

WG3からの報告：水落キャンパス副教務部長 佐藤友紀

2 シラバスについて：教務部長 出口 憲

出席者数 常葉大学静岡草薙キャンパス 195人

静岡瀬名キャンパス 20人

静岡水落キャンパス 60人

浜松キャンパス 121人

合 計 396人

令和3年度第4回F D・S D研修会（全学共通研修会）を開催した。教務部から教学マネジメントの現状と今後の取り組みとして、各ワーキンググループから報告があった。第1ワーキングでは「DP達成に向けた授業科目の体系性・有機的連携の確保」について、浜松キャンパス副教務部長の中澤寛元教授が報告した。カリキュラムツリーが入学前準備教育や高大連結活動にも活用されていることなど現状についての報告と、また、授業科目ナンバリングについては次年度に向けて改訂の必要がある場合には見直しをするよう依頼した。第2ワーキングでは「学生の学修を活性化し、効果的な教育を行うための様々に措置」について、草薙・瀬名キャンパス副教務部長の鎌田公寿准教授から報告があった。鎌田副教務部長からは、シラバスの充実、履修科目登録単位数の上限設定、G P A制度の導入と活用、柔軟な学事歴の開発についての現状と課題が報告された。第3ワーキングでは「アセスメントプラン」について、水落キャンパス副教務部長の佐藤友紀教授から報告があった。佐藤副教務部長からは、アセスメントプランの運用に向けて他大学を参考にした評価方法と学修成果の可視化に向けた今後の予定について報告があった。

最後に教務部長の出口憲教授からは、電子シラバスの変更点について報告があった。来年度に向け、これまでのシラバス作成やシラバスチェックの問題点を解決するため、電子シラバスの項目を変更したことやシラバス作成における注意点等について報告があった。